

# 提言VI

## コロナ環境での工夫

～第7回未来を語る会を終えて～

作成：2022-23年度 青年・中堅世代活動推進小委員会

委員長：島田 秀幸

委員：金子 裕行、黒川 孝、入戸野 尚子、  
藤崎 正則、宮川 知宏、若松 眞紀子（50音順）

# はじめに

日本スクエアダンス協会（以下S協）、中堅世代活動推進小委員会は、概ね50～65歳のS協会員を対象に、5年後、10年後に日本のスクエアダンス（以下SD）界がこうなっていたら良いな、ということを考え、同世代間のコミュニケーション作りを行ってきました。

2018年の委員会発足以来、活動イベントとして『未来を語る会』を継続的に開催、2023年4月に第7回を行いました。今回の『提言VI』は、第7回の開催を終えて、として提出します。

2023年5月より、コロナウイルスが第5類の伝染病に変更され、ようやく日常が戻りつつあります。第7回は、4月9日開催の為、まだコロナ禍ではありましたが、初めてのハイブリット開催を行い、委員側も新しい試みに試行錯誤しながら実施致しました。第7回を終えて、提言VIを提出します。

※提言：自分（達）の意見をたくさんの人の前に出すこと、出された意見

# 第7回未来を語る会と

## 提言VI

# 第7回未来を語る会の実施

2023年4月9日（日）、長引くコロナ禍の中、第7回を実施した。  
コロナは、ようやく落ち着きを見せ、5月からは第5類に移行されることも踏まえ、初めてのハイブリット（リアル&オンライン）開催を行った。  
二部構成とし、第一部：ダンス、第二部：討議を行った。  
コロナ禍収束間近かの時期であったが、リアルにダンスを行うことで、参加者の気持ちも盛り上がり、コミュニケーションも取れ、効果はあった。  
第二部は、従来通りの討議とし、以下のテーマで、①グループ討議、②全体討議を行った。

## ■ 討議テーマ：コロナ環境での工夫

テーマ1. ビギナー育成の具体的工夫

テーマ2. 現状会員の定着と活性化の  
具体的工夫

開催費含む  
第7回 日本のスクエアダンスの  
未来を語る会  
~The future of Square Dance in Japan~  
今回は、リアルダンス&討議のハイブリット開催！  
世代の近い仲間とダンスを楽しみ、10年後の日本のSD界を考え、  
コロナ禍での工夫や未来のSDについて語り合おう

2023. 4. 9 (日)  
対象：概ね64歳までのS協会員  
第一部：10:00~12:00：ダンス  
(昼食は各自でお楽しみします。館内に食堂あり・服装自由、コスチューム不要)  
第二部：13:00~17:00：討議  
討議テーマ：コロナ環境での工夫  
1) ビギナー育成の具体的工夫  
2) 現状会員の定着と活性化の具体的工夫

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 501  
東京都豊島区代々木3-1 小田原線 豊島橋駅より徒歩約7分  
対象：概ね64歳までのS協会員  
定員：100名  
参加費：リアル参加：1,000円（当日払）、オンライン参加：無料  
申込URL：①リアル参加：https://forms.gle/yqoD1DbuGJVeNF4s  
②オンライン参加：https://is.gd/qCN3IT  
※リアル参加、オンライン参加、どちらも必ず事前にお申込みください  
※各QRコードからお申込みできます  
①リアル参加 ②オンライン参加  
問合せ/メール申込：skyo-mirai@crest.ocn.ne.jp  
主催：一般社団法人日本スクエアダンス協会 青年・中堅世代部会 豊島橋小委員会

# 各チームの検討のポイント：Aチーム

## テーマ1： ビギナー育成の具体的工夫

- \* ビギナーの嫌がる**無駄なリードを行わない**よう気を付ける
- \* ビギナー**講習会をいつでもスタート**させる
- \* ビギナーがまた来たいと思えるように、**ビギナーに積極的に話しかける等人間関係を大事に**
- \* ビギナーに**悪気のない上から目線にならない様に注意**
- \* ビギナーに**衣装等、押しつけは禁止**
- \* 英語の発音は大事だがビギナーの**聞き取り易さも大事**。ダブルスタンダードで

## テーマ2： 現状会員の定着と活性化の具体的工夫

- \* **ゲストを呼んでの特別例会等、非日常を感じられる例会を**
  - 誕生会等のイベントの充実化も有効
- \* その日の例会が楽しかったと思えるように**1日1チップは特別楽しいチップを**
  - スクエアダンスが「ダンス」と感じられるように
  - 音楽とリズムを大切に

※ **ハイライト** = ポイント

# 各チームの検討のポイント：Bチーム

## テーマ1：ビギナー育成の具体的工夫

- \* ビギナーの**年齢層、特性に併せた柔軟な対応**が必要
- \* ビギナー**講習会開催時期も柔軟に対応**することが重要（チャンス逃さない！）
  - やってみたいと思う人が来たら“待たせない”ことが鍵
  - クラブ内で出来なければ近隣クラブの協力を得る
- \* ビギナー講習時、**ビギナーも会員も全員が楽しめる**ことが大切
  - 講習に会員がいよいよ参加していたら伝染する

## テーマ2：現状会員の定着と活性化の具体的工夫

- \* **例会の運営方法を見直す→軽量化が必須**
  - やらされ感が良くない
  - 趣味は多様化している、特に若い世代は他にも趣味を持っている
  - 役割負担が多いとやらない、やってもやめてしまう→例会運営の軽量化必須
- \* 過去から「これを行っているからやってもらう」という**固定観念を見直す必要あり**
- \* 通常例会だけでなく、**合同例会やオープン例会など、いつもと違う人と踊る、多くの人と踊ることが大切**
  - 併せてクラブメンバーも楽しむことが大切

※ **ハイライト** = ポイント

# 各チームの検討のポイント：Cチーム

## テーマ1：ビギナー育成の具体的工夫

- 「ビギナー担当」の係を設置  
→ビギナーからの、コレオだけでなく様々な相談を受ける役目
- 明確な目標を設定  
→Dosadoパーティーに合わせたカリキュラムを組み、全体的な士気を高める。
- 飲み会の開催（コロナ禍を除く） →積極的なコミュニケーションを図る
- 一回の例会の中で、レベルを分けたチップ構成  
→ビギナーとベテランのマンネリ化を防ぐ

★ビギナー会員とベテラン会員の両方に配慮しつつ、ビギナーが自発的に勉強できるような環境づくりが大切

## テーマ2：現状会員の定着と活性化の具体的工夫

- 会報の発行 →些細なニュースで構わないので、新たな情報を随時更新
- 会員の口コミでビギナー募集  
→宣伝効果が一番期待できる募集方法。「仲間が仲間を呼ぶ」という構造づくり
- メーリングリスト・はがき・LINEグループ等で密な連絡を取る  
→集団意識を高められる。また、欠席時のフォローアップも容易になる。
- Facebookページ開設、活動内容の宣伝  
→写真・動画をSNSに残すことで、楽しかったダンスを振り返ることができる。

★会員全員が帰属意識を高められるような運営が大切。それに向けて積極的な情報交換・共有は有効的

※ハイライト＝ポイント

# 各チームの検討のポイント：Dチーム

## テーマ1：ビギナー育成の具体的工夫

- \*ビギナーが楽しめるようになるまで時間がかかる  
ビギナーへのリードはやさしく、出来たねと思える成功体験を積み重ねる  
ラストチップは大切 来週また来たいと思えるように楽しく  
**☆楽しい雰囲気、やさしいリード、来週へつながる講習**
- \*スクエアダンスの認知について  
家族向けの見学会の開催、退職後、何かを始めたいと思っている人へのアプローチ  
たくさんの人に見てもらう、例えば、川口デモダンスを実施したい  
**☆スクエアダンスの認知度を上げる**
- \*コスチュームの自由化  
コスチュームは絶対ではない、着たくない、費用をかけたくない、という意見にも柔軟に対応する  
リサイクル・メルカリ等を利用する  
**☆負担をかけずに始められる工夫**

## テーマ2：現状会員の定着と活性化の具体的工夫

- \*例会の工夫  
お誕生会・・・今月のお誕生日の方をお祝いする、  
クリスマス会に家族を招待、子供へクリスマスプレゼント等  
ミニパーティーの開催・・・ゲスト例会、2カプルダンス、プログレッシブダンスをやってみる  
例会時間の工夫・・・時間の短縮・曜日の変更  
上から見た動画を作成、インスタの利用、等  
**☆例会プログラムを工夫する、会員同士のコミュニケーションを図る**

※**ハイライト** = ポイント

# 提言Ⅵ：第7回未来を語る会より

## テーマ1. ビギナー育成の具体的工夫について

### ★多様化への対応

年齢層、参加者特性に併せた柔軟な対応が必要

ビギナー講習会開催時期の柔軟な対応

ビギナーも会員も全員が楽しめる工夫

楽しい雰囲気、やさしいリード、次回へつながる講習の実践

スクエアダンスの認知度を上げる工夫

負担をかけずに始められる工夫

## テーマ2. 現状会員の定着と活性化の具体的工夫について

### ★新しい例会のあり方の検討・工夫

例会の運営方法の見直し、役員等の軽量化

例会プログラムを工夫する、会員同士のコミュニケーションを図る

1日1チップは特別楽しいチップを

クラブ運営の固定観念を見直す

# 第8回未来を語る会に向けて

---

第8回は、次のように行うことを検討する

## 1.リアル・オンラインのハイブリット開催

ダンスプログラムを入れる、地方との同時開催の検討

## 2.参加人数の確保（30人以上）

## 3.青年層も盛り込む

## 4.現在の好事例、取り組み事例の共有

## 5.イベントの実施検討

※開催日：2024年1月14日（日）,オリンピックセンター

# アンケートまとめ①

## アンケート例（第7回・抜粋）

「第7回日本のSDの未来を語る会」アンケートのお願い

皆様、お忙しいところ未来を語る会に参加頂き、お騒がせいたしました。今後の会の参考、内容検討のために下記アンケートの記入をお願いします。

アカウントID: hkaneko9112@gmail.com アカウント切り替え

\* 必須の質問です

質問1. 今回の「未来を語る会」開催を何でお知りになりましたか？

S協ホームページで  
 S協機関誌で  
 メーリングリストで  
 知人からの紹介で  
 その他

質問6. 参加希望さんのメーリングリストに参加したいと思いませんか？

すでに参加している  
 是非参加したい  
 賛成だが乗り気ではない  
 不要と思う  
 わからない

質問7. 討議の時間には出なかったが後で気になった内容や、今後の活動について、ご意見・ご要望・ご感想などなんでも結構ですのでご記入ください。

## 第1回～第7回のまとめ

全体討議について（第1回は内容について）									
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	延べ人数	率
非常に満足	2	8	2	3	5	2	7	29	29.6%
満足	6	24	5	7	1	5	11	59	60.2%
どちらとも言えない	2	1	2	0	1	1	1	8	8.2%
不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
非常に不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
未回答							2	2	2.0%
合計	10	33	9	10	7	8	21	98	100.0%

グループ討議について（第1回はプログラム・構成・会場等について）									
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	延べ人数	率
非常に満足	2	9	2	5	5	3	9	35	35.7%
満足	7	21	6	4	1	3	10	52	53.1%
どちらとも言えない	1	2	0	1	1	2	2	9	9.2%
不満	0	1	1	0	0	0	0	2	2.0%
非常に不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	10	33	9	10	7	8	21	98	100.0%

未来を語る会の開催を何で知りましたか？							
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	延べ人数	率
S協ホームページで	1	1	1	2	1	6	10.2%
S協機関誌で	1	1	1	0	1	4	6.8%
メーリングリストで	3	6	3	6	4	22	37.3%
知人からの紹介で	2	2	2	2	12	20	33.9%
その他	3	1	0	0	3	7	11.9%
合計	10	11	7	10	21	59	100.0%

オンラインミーティングについて（第7回はハイブリット開催について）							
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	延べ人数	率
非常に満足	4	4	5	2	7	22	40.0%
満足	5	6	2	5	11	29	52.7%
どちらとも言えない	0	0	0	1	1	2	3.6%
不満	0	0	0	0	0	0	0.0%
非常に不満	0	0	0	0	0	0	0.0%
未回答					2	2	3.6%
合計	9	10	7	8	21	55	100.0%

※参加者へのアンケートを毎回実施している

・全体討議、グループ討議は、共に**満足以上の評価**

※第3回からはオンライン開催のため、『何で知ったか』『オンラインについて』それぞれの項目を追加

・何で知ったかは色々あるが、**メーリングリスト、知人からの紹介が多い**、メーリングリストは過去の参加者対象の為、新しい参加者が、増えていないことが問題

・**オンラインについては、満足以上の評価**、オンライン開催への不満はない

・リアルダンスの効果はあり、ハイブリットも概ね高評価、参加者増に繋がった。（第6回→第7回参加者 = 200%

## アンケートまとめ②第7回参加者の声

- 第7回のアンケートを掲載、アンケートは毎回実施しており、参加者の声を反映した会になるよう改善している。参加者からの声に、この会の重要性を強く感じる意見が多く、今後も回の継続が必要と思われる。

### 全体的なこと：

- ・本日は貴重な時間を設けていただきまして、ありがとうございました。地方に住んでいると、どうしてもこういった集まりは、ハードルが高いです。せっかく参加をしてきたよと報告をしても、関心を持つ人がいない、温度差があり、なかなか伝わっていきません。出来れば、地方での開催も考えていただけたらと思います。（無理は承知の要望です）  
例えば、県内でこのような集まりを地道に重ねて、S協へ報告をする会をzoomや、リアルで参加してもらうなどにするなど。
- ・クラブの活性化には、会員が一定の役割を持つことが有効と思う。趣味を楽しむうえで、協力を惜しまない姿勢が望まれる。
- ・今回から参加年齢層の下限をなくしたようですが、50代より下の年齢層の参加者がとても少なかったように思うので、次回はもっとたくさんの若年齢層の参加があると良いと思います。
- ・午前中は楽しくダンスを踊り、午後は意見を出し、話し合うことができ、とても良い1日になりました！！  
本当に有難う御座いました。
- ・S協会員登録の際に本当は“生年”をデータに加える。もし大変なら登録時に65才未満にチェックを付けるなど名簿のリスト化 メールアドレスのリストを作ってご案内を出す、という工夫が必要だと思います。
- ・SDコスチュームのスカートの長さ等、フリーにしてほしい。ドレスコードを変更したり新たに作ったりする事が必要か
- ・新しい意見や見識が出て拒絶せず受け入れられる体制があればいいかなと思います。
- ・「未来を語る会」の参加者の皆様がこれからのSD界のビジョンが同じような考えを持っていたことに少し安心いたしました。趣味の世界でありますのにSDはかなり厳しいものだと感じる事が多々ございます、この問題を1つ1つクリアをしていかないと「定着」という観点からは遠いものになって行くと思います。その中で会議で島田さんがおっしゃられた各クラブの運営方法の見直しと軽量化(役割分担)が今後のSD界が発展するかどうかにかかっているのではないかと思います。今回こちらには初めて参加させていただきましてホットした自分がいました色々なクラブの方々と話す機会があまりございませんでしたので大変嬉しく楽しませていただきました、事務局の皆様ありがとうございました。

# アンケートまとめ③第7回参加者の声

## ハイブリット開催とダンスプログラムについて：

- ・島田さんのリモートでのチップは、タイムラグの関係で、シンギングだけにされましたが、画面で見ている限り問題なく踊れているようでした。ハッシュだとやはり難しいものなのではないでしょうか？例会でこの方法が採用できたら楽しいものになるかと思っています。
- ・当日はしばらくの間でしたが、皆さんの活発なダンスの様子も拝見でき良かったです。音響も良く、ハイブリッド実施に向けた設営状況が良かったと思いました。今回はコロナ禍からの久しぶりの開催でしたが、これからはもっと多くの方に参加いただけるよう呼び掛けていきたいですね。
- ・大変充実した1日となりました。委員の方々は大変だったとは思いますが、ありがとうございました。

## ★印象的なご意見（再掲）★

- ・「未来を語る会」の参加者の皆様がこれからのSD界のビジョンが同じような考えを持っていたことに少し安心いたしました。趣味の世界でありますのにSDはかなり厳しいものだと感じるが多々ございます、この問題を1つ1つクリアをしていかないと「定着」という観点からは遠いものになって行くと思います。その中で会議で島田さんがおっしゃられた各クラブの運営方法の見直しと軽量化(役割分担)が今後のSD界が発展するかどうかにかかっているのではないかと思います。今回こちらには初めて参加させていただきましてホットした自分がいました色々なクラブの方々と話す機会があまりございませんでしたので大変嬉しく楽しませていただきました、事務局の皆様ありがとうございました。

# 開催履歴

2019.5.1 第1回 19.10.22 第2回 21.1.17 第3回 21.6.13 第4回 21.12.12 第5回 22.6.19 第6回 23.4.9 第7回



回数	開催日	方法	参加者数	委員等	合計人数
第1回	2019/5/1	リアル	35	9	44
第2回	2019/10/22	リアル	36	8	44
第3回	2021/1/17	オンライン	13	8	21
第4回	2021/6/13	オンライン	21	8	29
第5回	2021/12/12	オンライン	10	8	18
第6回	2022/6/19	オンライン	11	8	19
第7回	2023/4/9	ハイブリット	リアル：18 オンライン：4	10	32

★ハイブリット効果あり、参加者数：第6回→第7回 = 200%

# APPENDIX : 今までの提言

# 提言 I : 第1回、第2回より

---

## 10年後の日本のスクエアダンスの姿

～10年後の日本のスクエアダンスがこうなっていたら良いな～

- 1.若い人を取り込む
- 2.現在のダンサーを維持する
- 3.スクエアダンスを広く一般に周知する

# 提言Ⅱ：第3回より

## コロナ禍で、今私達ができること

10年後の日本のスクエアダンスの姿

～10年後の日本のスクエアダンスがこうなっていたら良いな～ をイメージしつつ

### 1. ネット（SNS）の活用：

Facebook、Twitter、YouTube、紹介ビデオ等によるSDの周知活動

### 2. 会員とのコミュニケーション：

情報提供によるSDとの触れ合い継続（メール、手紙、宿題etc.）

オンラインダンス（カントリーダンスも切り口になる）の実践

有名コーラーのコールをオンラインで踊る

### 3. 自治体へのアピール：

コロナ禍でもできる、マスクをしてもできる趣味

感染防止対策の徹底、クラスター未発生等を、自治体・施設等に応じる

# 提言Ⅲ：第4回より コロナ禍での活動のポイント

## ■コロナ禍が長引く環境下での活動のポイント

### 1.今いるメンバーの継続

- ①メンバー間のコミュニケーション継続
- ②メンバーの考えの理解（多様性）
- ③例会の工夫（地域差顕著）
- ④カントリーラインダンスの活用

### 2.コロナ後の準備

- ①世代別アプローチ
- ②メディアの有効利用
- ③コスチュームの考え方

## **提言Ⅳ：第5回より 今できることを行う**

---

- 1.第5回未来を語る会で検討したことを主に実行する**
- 2.コロナ禍で例会休止時は、何かできることをやってみる**

## **提言 V : 第6回未来を語る会より**

---

- 1.発表・討議からの好事例を例会に取り入れる**
- 2.引き続き、コロナ禍においてできることを行う**
- 3.改めて『未来を語る会』の在り方、活性化を考える**